

令和5年

第14回新温泉町教育委員会会議議事録

(令和5年12月27日開催)

新温泉町教育委員会

## 令和5年第14回新温泉町教育委員会会議録

1 日 時 令和5年12月27日（水）午後2時15分～午後4時30分

2 場 所 浜坂多目的集会施設 会議室

3 出席者

（委員）宮口教育長職務代理者 山本教育委員 阪本教育委員 村尾教育委員

（事務局）吉田子ども教育課長 西脇生涯教育課長、樹岡子ども教育課参事

中尾生涯教育課課長補佐、川夏生涯教育課事務員

4 会議録署名委員 阪本教育委員 宮口教育長職務代理者

5 傍聴者 0人

6 議 事

日程第1 会期の決定

日程第2 会議録署名委員の指名

日程第3 前々回会議録の承認、前回会議録の承認

日程第4 教育長報告及び所管事務報告

日程第5 協議事項1 令和6年度新温泉町小・中学校教職員異動方針（案）について

日程第6 次回新温泉町教育委員会日程について

\*\*\*\*\*

開会 午後2時15分

\*\*\*\*\*

○宮口教育長職務代理者 只今より令和5年第14回新温泉町教育委員会を始めさせていただきます。教育長は不在ですが、教育委員全員が出席されていますので会議は成立しております。

2学期は教育委員のみなさんには学校園訪問を含めていろいろとお世話になりましたけれども、学校でも2学期は行事をいろんな形で進めることが多かったように思います。その中で、コロナは終息の方向にあるかもしれませんが、一方で、インフルエンザが流行し、学校ではばたばたしているという状態も見られたと思います。2学期が終わり、今度は3学期に向けて、今後、学年末として、まとめていく方向になるかなと思いますけれども、よろしくお願ひします。

それでは、今日も教育委員の皆様から教育に関して、また、その他行政に関して、いろんな角度からご意見をいただきながら、教育に生かしていきたいと思ひますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

それでは、日程第1の会期の決定についてです。本日の午後5時までの1日間としたいと思いますが、ご異議ございませんか。（「はい」の返事有り）異議なしということで進めさせていただきます。次に日程第2の会議録署名委員の指名ですが、阪本委員と私ということでお願いします。次に日程第3の会議録の承認についてです。前々回と前回について、先ずは前々回の会議録について村尾委員をお願いします。

○村尾委員 簡潔にそして正確に記載されていたことを報告します。

○宮口教育長職務代理者 ありがとうございます。次に前回の会議録について山本委員をお願いします。

○山本委員 簡潔かつ正確に記載されていたことを報告します。

○宮口教育長職務代理者 ありがとうございます。それでは、日程第4 教育長報告及び所管事務報告に進めさせていただきます。先ずは月例の教育長報告ですが、行事や学校園の様子などをこども教育課長に報告していただきます。

○吉田課長 （別紙「教育長報告」及び議事日程資料1ページを説明）

○宮口教育長職務代理者 以上で報告を終わります。ここまでの報告でご質問等ございましたらお願いします。よろしいでしょうか。それでは次に、こども教育課の報告をお願いします。

○吉田課長 （議事日程資料2～6ページを説明）

○宮口教育長職務代理者 こども教育課の所管事務報告について説明が終わりました。ご質問等ございましたらお願いいたします。山本委員、お願いします。

○山本委員 不登校児童生徒の推移なんですけど、前年度に比べて減ってきているというのは一生懸命取り組まれている成果だなと考えています。実際には、同じ子どもさんが年度をまたいでここに上がっているというようなことも考えられるんで、前年度と比較できるようにはならないでしょうか。

○宮口教育長職務代理者 樹岡参事、お願いします。

○樹岡参事 今、山本委員のほうから、不登校対策の具体的事例についてのご質問がありました。今年度は、兵庫県で「ひょうご不登校対策プロジェクト事業」というものがありまして、各学校が不登校に関する計画を立てて、随時見直しを図りながら進めております。また、特に効果があるのが浜坂中学校でやっているサポートルームです。県でもかなりそこには力を入れようという動きがあります。子どもたちの選択肢を増やしていくという意味ではかなり効果が見られます。サポートルームでの学習、あるいは浜坂中学校でいえば、個別に区切った相談室での登校、保健室登校、あるいは放課後登校、様々な工夫を凝らし

ながら、子どもたちが自分に合った学習を進めていく、そういう意味で成果が表れているのではないかなというところで分析しております。

○宮口教育長職務代理者 ありがとうございます。山本委員、お願いします。

○山本委員 いろんな取組の中で、実際に、浜坂中学校では校内に子どもさんをしっかりとサポートする部屋をつくられているとか、なかなか今までなかったような斬新的な取組もされているとは思っているんですが、同じ不登校でもいろんな取組をしていただいたり、先生が関わったりして、不登校ですので欠席日数は30日以上あるんだけど、前年度に比べたら、大分減ってきたというような子どもさんがきとおられるんだろうなと思って、そういう成果が読み取れるような工夫をしてみてください。

○宮口教育長職務代理者 樹岡参事。

○樹岡参事 ご意見ありがとうございます。今、生徒指導担当や適応指導教室の担当と成果が見られた事例について分析をしているところですが、主に2点ありまして、まず、子どもの視点でいえば、自己選択を増やしていくことによって成果が表れたというものがあります。もう一つは、子どもだけではなくて、保護者への支援、保護者の相談に乗りながら家庭として安心感を与えていく、それによって、登校が結びついた事例もごございます。ただ、本当に不登校は個人個人によって様々な理由がありますので、いい事例もあれば、欠席日数が増えている事例もありますので、引き続き、取組を進めていきたいと思っております。

○宮口教育長職務代理者 よろしいでしょうか。

○山本委員 言われていることはよく分かるし、いい事例もあれば、なかなか成果が表れない事例もあるということも重々承知はしています。ただ単に、不登校として一括りで人数を上げるだけではなくて、例えば、100日欠席している子でも、去年の今の時点だったら120日だったのが100日になったとか、ちょっとでも去年より改善したとか、何かそういう明るい見通しが持てる。そんな分析をぜひ一人ひとりの子どもさんに対して、してあげてください。増えている子どもについては、何が原因でこうなっているのかなとか、もっとスクールソーシャルワーカーさんに家庭に入っていただいたほうがいいのかとか、いろんな解決の策が見えてくるんじゃないかと思っておりますので、大変だと思いますけども、ぜひお願いします

○宮口教育長職務代理者 数字ではこうなっているんだけど、改善している子どもももちろんいると思いますし、それがわかるような、前年度との比較ができるような、学校の取組に対しては教育委員会、事務局としても支援していかなければならないと感じております

ので。吉田課長。

○吉田課長 不登校に関しましては、30日には達していないけども、不登校傾向の子どももいるんです。この時期、冬休みが終わって、3学期が始まる。そこでちょっと環境が変わってくるところもありますので、12月の校園長会の中では、しっかりとその辺もフォローして、登校を促すような対応、対策を取っていただきたいということで、担当の指導主事から各校長先生にお願いしています。資料の改善については検討させていただきます。

○宮口教育長職務代理者 個々で状況が違うという状況で、本当に難しいとは思いますが、何とか明るい顔で学校に通えるような雰囲気をつくってあげていただきたいと思います。ほかはよろしいでしょうか。それでは次に生涯教育課の報告ですが、先ずは(1)から(3)までをお願いします。

○西脇課長 (議事日程資料6～18ページを説明)

○宮口教育長職務代理者 報告が終わりました。何かご質問等ございましたらお願いいたします。山本委員。

○山本委員 9ページの味原川文化伝承者館の備考欄に内容が書いてあるんですけど、古文書教室や短歌教室について、どなたが講師で参加者が何人ぐらいかというのを聞かせてください。

○西脇課長 川夏事務員に答えてもらいます。

○川夏事務員 古文書教室につきましては、岡部良一さんに講師をしていただいております。参加人数は11名程度が毎月1回来ておられます。先人記念館で行っていたものを伝承館に移したもので、大体7、8年通っておられる方、この方たちが継承していただいております。

短歌教室の講師につきましては、関宮の有本俱子さんが前田純孝を含めて、但馬で短歌教室などをされておられますので、お願いしております。初年度の内容は前田純孝だったんですけど、今は但馬の歌人の歌を取り上げていただいて、参加人数は8名から10名程度であります。これは町外の方も来て勉強されておりますし、町内の方も何名か入っておられます。

○宮口教育長職務代理者 山本委員。

○山本委員 こういった事業は町民に広報されているんですかね。

○川夏事務員 基本的には、以命亭の友の会の事業ということですので、友の会に入っておられる方、また、年間券を買われている方に募集をしております。

短歌教室につきましては、短歌のつくり方ではなくて、いろんな歌人の歌を学ぶ、また歴

史的に訪ねる。そういう形の教室になっております。

○宮口教育長職務代理者 この件に関して、追加でご質問等ありましたらお願いします。村尾委員。

○村尾委員 町内でも短歌をつくってらっしゃるグループがありますよね。そういった方たちがもっと活用できるようなものだったらいいのかなと思うんですが、そういう方がもっと気軽に行けるようなものではないということですね、今、現状は。

○川夏事務員 今後、伝承館の利用価値を考えていく必要がありますし、言われるように、広く周知して、聞いていただくというのが課題かなとも感じています。一方で、短歌にも流派があります。浜坂にも2つの会があるんですが、違いがあるようです。いずれにしても、短歌教室的なところで伝承館を使っていただくような形ができたらとは思いますが。

○村尾委員 上のレベルの短歌教室だけではなくて、もうちょっと親しみやすいレベルの短歌教室があってもいいのかなと思います。

○宮口教育長職務代理者 いろんな事業の中で検討していただいて、親しみやすい、また多くの方が参加できるような、そういう会になればより生かされるんじゃないかなと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

よろしければここで10分間の休憩を取りたいと思います。

\*\*\*\*\*                      休憩    午後3時25分                      \*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*                      再開    午後3時35分                      \*\*\*\*\*

○宮口教育長職務代理者 休憩を閉じて再開します。続いて(4)から(6)の説明をお願いします。

○西脇課長、中尾課長補佐、川夏事務員 (議事日程資料19～21ページ議事日程資料21ページおよび別冊を説明)

○宮口教育長職務代理者 説明が終わりました。先ずは、(4)新温泉町文化財保存活用地域計画について、ご質問等ございましたらお願いいたします。山本委員。

○山本委員 8年間の大綱で、要綱を新たに3つ制定したり、新しい組織をつくられるということで、大変な取組になるなということを感じましたし、これがきちっと軌道に乗ったら、新温泉町の将来にも随分影響するんだろうなと感じさせていただきました。基本的なことを聞くんですが、文化庁が新規に20件認定したということで、兵庫県では新温泉町

と小野市ということで、これが認定されるのと認定されないのではどんな影響が出るんですか。

○川夏事務員 この計画をつくる前に、文化庁は歴史文化遺産活用計画の作成という方針を出していたんですけど、各市町から法的根拠と、それから根拠に基づく財政的な支援が欲しいという意見が出まして、文化庁が平成30年に文化財保護法の中に地域計画の策定を盛り込んで法的根拠を整えました。あとは、この計画の中で、どんな事業をいつまでに、どこが主体となってするか、財源は何を使うかというところまで明記しています。この計画は文化庁に限らず、農林水産省、環境省、国交省など各省庁も確認して、承認をいただいているということで、補助金の活用や規制緩和というようなところでも良い影響があると考えています。兵庫県では11事例目になります。滋賀県が12で、兵庫県が2番目に多い。全国的にも早期の取組だと思っていただけたらと思います。

○宮口教育長職務代理者 西脇課長、お願いします。

○西脇課長 新温泉町におきましては、エリアが広くて、谷が多い、コンパクトでない町というデメリットもある一方で、舞台という形、それぞれに素晴らしい文化財を持っているということで、多くある文化財をどのように保存して活用していくのかという大きな課題があります。その中で、当然ながら2,700もの文化財が全て守れるわけはありませんので、今後、地域として守っていくことが難しいとなればデジタルで残していくという判断もしていく必要がある。そういう判断をする材料、指針が描かれているというものです。

役場の職員にとってこの計画は、これは歴史、新温泉町の成り立ちから、気候、風土、文化、それら全てが掲載されていますので、まちづくりに役立つ教本なんです。なので、管理職をはじめ全職員がこれをしっかり読み込んでもらえれば、今後のまちづくりに何が必要なのかが見えてくる。この計画の重要性を理解していただけると考えています。

○宮口教育長職務代理者 この計画につきまして、検討に検討を重ねた上でのものになっております。これを見ることによって、新温泉町の成り立ちとか、これからの展望だとかというものが分かるんじゃないかなと思います。

次に専門職大学と夢ホールの連携事業についてですが、定員が100名といたら、かなり限定されますね。

○西脇課長 そうですね。一応は100名なんですけど、100名超えても受け入れることは可能と聞いています。ただし、大規模ではなくて、小規模でしっかり文化をつくっていくということがベースにありますので、学生たちと話をして、目安の数字を出したというこ

とです。

- 宮口教育長職務代理者 22歳以下ということですが、高校生も対象ですか。
- 西脇課長 高校生も中学生も対象です。夢ホールの利用状況をみますと、中核となる働き世代や、中高生、大学生というのがどうしても集まりにくいということがあります。そういったところをいろんなアプローチの仕方で行ってこうという工夫の一つでもあります。
- 宮口教育長職務代理者 22歳以下ということになってくると、ある程度限定されますので、どれだけの方が入ってこられるのか、その辺が楽しみなところもあれば、ちょっと心配なところもあったりはしますけれども、よろしくお願ひしたいと思ひます。村尾委員どうぞ。
- 村尾委員 「四畳半神話体系」というと、子どもたちには難しい題名かなと思ひんですけど、興味を引くためのエキスマイナものを伝えてあげないと、集まりにくいかなと思ひますが。
- 宮口教育長職務代理者 西脇課長。
- 西脇課長 キャプションがありますので、それを含めて周知をしていきたいと考えています。大学3回生の春、京都が舞台という設定で、大学生活であるとか、それが他の選択肢がどうなのかというようなところで、ちょっと情景は浮かぶのかなと考えています。
- 宮口教育長職務代理者 村尾委員、いいでしょうか。
- 村尾委員 高校生であればある程度イメージが湧くのかなと思ひんですけど、中学生となるとちょっと心配な気がします。
- 宮口教育長職務代理者 西脇課長。
- 西脇課長 募集は但馬全域にかける予定です。豊岡の大学生が主演で来るので、その友人たちが来てくれると思ひます。町民限定ではありませんので、あくまで幅広い中核の学生世代をどうやって夢ホールに連れてくるかというところを主題として考えております。
- 宮口教育長職務代理者 但馬一円の範囲の中で。
- 西脇課長 そうです。
- 村尾委員 分かりました。香美とか岩美とかからも来れるんですね。
- 西脇課長 そうです。この事業はチャレンジでもあるので、やってみないことには分からない。先ずはこれをやってみて、検証して、次につなぐということを主に考えています。今、専門職大学には240名の大学生がおります。来年には4学年がそろって320人になります。その方々が新温泉町に少しでも来ていただくというきっかけとしたいという思ひもあります。



- 宮口教育長職務代理者 いいきっかけになればいいと思います。山本委員。
- 山本委員 芸術文化観光専門職大学はいろんなところで活動されていて、特に平田オリザさんが主催されているいろんな劇団があって、それが豊岡市や香美町で舞台をされている、そういう週間がありましたよね。残念ながら、その中には新温泉町は入ってないんですけど、この事業は、今も言われたようなことももちろんなんですけども、芸術文化を新温泉町にも広げていくという観点で、今後こういった事業は続いていくんでしょうか。
- 宮口教育長職務代理者 西脇課長。
- 西脇課長 ご質問ありがとうございます。私たちも芸術文化観光専門職大学ができたときから、ずっと連携を進めてまいりました。特に夢ホールとの接点を持って、この大学生主体の事業については、練りに練って進めていて、これを継続していきたいと思っています。
- 宮口教育長職務代理者 この公演が町民にとっても地域にとっても、実のあるものになり、またぜひやってほしいというような意見が出るような事業にしていきたいと思います。よろしくお願ひしたいと思います。
- それでは、第2期新温泉町スポーツ推進計画についてご質問、ご意見をお受けいたします。山本委員。
- 山本委員 進行管理なんですけど、きちっと計画されていて、このとおり進めば、町内のスポーツが大いに盛り上がると思います。ただ10年間という、かなり長期にわたる目標設定になっているので、中途にPDCAサイクルを活用しながら、目標値にどれだけ近づけていけるのかといった検証をしていく作業は非常に大切だと思っています。数値が数値だけで終わらないように、進行管理をしっかりしていただけたらと切に願っています。それと、この資料を見ていたときに感じたのは、運動能力とか、運動習慣の数値が上がっているんですけども、例えば小学校5年生の女子の20メートルシャトルランとか、50メートルとか、それを見ていくと、全国や兵庫県の平均よりかなり高いんですが、中学校2年生の女子になると、全国や兵庫県の平均を下回っている。同じメンバーではないということもあるんでしょうけど、何か考えられる要因はあるんでしょうか。
- 中尾課長補佐 要因かなということでは、中学生は部活動に関して、これまではほぼ毎日部活があったんですが、休養日の導入がされたことによって、運動能力が一部低下したことが要因の1つとして挙げられるかなと考えております。
- 山本委員 同じ子どもでの3年後の数値ではないでしょうかから、今回の5年生が中学2年生になってどういった数値を出すかで、必要な対応が見えてくることも考えられるので、意識していただきたいなと思います。

○中尾課長補佐 はい。

○宮口教育長職務代理者 資料を見ていると、地域性というのも相当あるなと思いました。

そうした中で、今後の取組の指針になるようなデータだと思いますし、10年後には人口もだいぶ減少しているといった予測もありますので、相当高いハードルかなと思いますけど、計画というのは高いレベルでの設定も必要かなとも思います。本当にこのような方向で、町民が目を向けて、そして、意識して、行動できる、そういう体制づくりをしていかなければならないのかなと思います。ほかはいかがでしょうか。よろしければ日程第5に進めさせていただきます。協議事項1 令和6年度新温泉町小・中学校教職員異動方針（案）について 事務局より説明をお願いします。

○樹岡参事 （議事日程資料22ページを説明）

○宮口教育長職務代理者 山本委員。

○山本委員 今年度から定年延長が始まり、61歳が定年になる年だと思うんです。昨年度までは60歳定年ですから、本町でも再任用校長が初めて配置されたんですけど、今年度はどういった制度になって、対象となる教職員はどのように考えているのか。教えていただける範囲で結構ですのでお聞かせください。

○宮口教育長職務代理者 樹岡参事。

○樹岡参事 実は定年引上げに関しましては、非常に大きな制度変更でありまして、今、委員がおっしゃっていただいたように、今年度に関してはほぼ退職者がいないという年になります。これは2年に1回1歳ずつ上げて、徐々に65歳まで引き上げていくこととなります。ただ、その一方で、60歳でもう辞める心積もりだったという方に関しましては、例えば定年前の短時間の勤務が可能であったり、柔軟に対応できる制度になっていますので、そこに関しては事前に教職員に説明会を行いまして、それを終わった後に、希望を取りながら、来年度に向けて準備を進めているところでございます。

○山本委員 じゃあ、今年度、退職しようかという人はほとんどおられないわけですか。60歳で退職しようかという方は。

○吉田課長 いいでしょうか。

○宮口教育長職務代理者 吉田課長。

○吉田課長 制度的には、60歳で辞める人が不利益にならないような制度にはなっています。その中で、今年で言えば61歳まで1年間定年が延びた中で、今言ったように、60歳で辞める選択肢、61歳まで定年を1年延ばして働く選択肢、もう一つは、暫定再任用という形で、退職はするけども、短時間で勤務を選択される選択肢、その3つが用意され

ています。その中で、今年60歳を迎えられた方がどれを選ぶかということになります。管理職に関しましては、原則として管理職での延長ができないので、主幹教諭として現場に配置されるのが原則になります。ただし、今年、再任用校長2人になっていただいておりますが、特認校長という形で、定年を延長する中、校長として残っていただく、そういうパターンも考えられます。

○宮口教育長職務代理者 山本委員。

○山本委員 ややこしい制度改正で、人事が大変だなと思うんですけども、やっぱり人事って学校運営の上ものすごく大事だと思っているんです。校長ヒアリングで現場の思いも聞かれると思いますし、いろんな関係を考慮して学校現場がうまく機能するように職員の配置を考えてください。この基本方針に基づいて各学校の人事をされるわけですが、ぜひその辺も考慮して対応してあげてください。お願いします。

○宮口教育長職務代理者 とにかく、教育委員会の一番大きな仕事が人事です。各学校の1年間を総括して、校長先生の思いの中で、次年度にはこれを伸ばしたとか、こういうところを改善したいとか、そうした思いがあって、人事ヒアリングがあると思います。そのところは十分頭に入れながら、事務局は大変ですけども、よろしくお願いします。ほかはいいでしょうか。それでは、本案を承認していただくということでもよろしいでしょうか。（委員全員了解）それでは案を消してください。

それでは次に進めさせていただきます。日程第6 その他 次回新温泉町教育委員会日程について 事務局よりお願いします。

○吉田課長 次回は1月31日（水）午前9時45分開始で、会場は後日お知らせするというごことをお願いしたいと思います。

○宮口教育長職務代理者 ご予定はいかがでしょうか。（委員全員了解）それでは次回は1月31日（水）午前9時45分開始、会場はあらためて連絡するというごことをお願いします。それでは、閉会の挨拶を山本委員にお願いいたします。

○山本委員 冒頭で宮口職務代理者が言われたように、本当に多くの行事があって、また春先にはコロナが5類に移行して、いろいろと学校生活が変わった中で、大きな事故やけがなく、何とか無事に2学期も終わられる。そして、今年が締められるということで、事務局職員の皆さん、現場の先生方に感謝申し上げます。

今日は、職務代理者が前に座っておられて、教育長さん不在というのは今日が初めての経験で、やっぱり今日はふだんとは違うなという感じを持ってスタートしたんですけど、宮口職務代理者には大変なご心労もあろうかと思っておりますけれども、何とか次の教育長が選任

されるまでは、大変な職だと思いますけど、よろしくお願ひしたいと思ひますし、また、来年もいい年になりますことを願って、閉会したいと思ひます。本当にどうもありがとうございました。

\*\*\*\*\*

閉会 午後4時30分

\*\*\*\*\*